

# 納入事例

## 日本テレビ放送網株式会社 様 麹町 G スタジオ

安定性を高く評価された CALREC “APOLLO” を筆頭に  
大型スタジオの収録を支える 4 台のコンソール



▲調整室に設置された収録用のメインコンソール CALREC “APOLLO”

### ■ 床面積・容積ともに日本テレビ最大のスタジオ

日本テレビ放送網株式会社様の麹町スタジオは、中型・大型スタジオを擁し、主に収録番組の制作に使用されており、生放送にも対応可能です。G スタジオは、床面積 250 坪、ホリゾン高 9m。日本テレビ放送網株式会社様のスタジオとしては最大規模を誇ります。主な収録番組は、「Music Lovers」「Happy Music」といった音楽番組で、「天才志村どうぶつ園」「世界まる見えテレビ特捜部」、期末期首の特別番組など大型番組なども収録しています。今回の改修は、テープから HDD に移行した昨今の音楽収録形態に対応可能で、より高音質な音楽収録が可能なシステムを目指したそうです。

### ■ 安定性と音質の良さを高く評価された APOLLO を含む、計 4 台のコンソール

G スタジオのシステム設計を行った山口裕司様は、APOLLO の放送用音声卓に求められる安定性と音質の良さを高く評価してくださいました。「放送用音声卓に求められる第一条件は“安定性”です。生放送に限らず音声卓のトラブルは、音声スタッフのみならず番組に関わるすべてのスタッフにも影響します。しかし、機械はいつか壊れるものでもあります。音声卓を構成する個々の箇所が故障した場合、どのようにそれを回避してシステム全体の安定性を保つよう設計されているかが選定理由の第一です。音質は音楽収録でも十分に満足のいくものになりましたし、操作性においても 30mm のフェーダー間隔は日本人の手になじむサイズだと思います。」と話してくださいました。

APOLLO を含め、G スタジオには 4 台のコンソールが納入されています。大規模番組の収録時には複数のミキシングエンジニアが APOLLO を運用し、番組によっては調整室だけではなく、収録スタジオ内でミキシング作業を行う場合もあります。これは、ミキシングエンジニアがテレビカメラを通さずに直接収録現場の状況を目視しながら作業に当たった方がより良い音作りができるからで、その場合は可搬性のある CALREC の小型アナログコンソール “M3” が活躍します。

また、収録用のコンソールとは別に、音楽番組のアーティスト向けのモニターやバラエティ番組の観客向けに Soundcraft の SR 用コンソール “Vi6” が使用されています。山口様は「操作性、音質に不満はありません。放送卓の APOLLO 同様、SR 卓にも安定性



▲収録スタジオ内の SR に導入された Soundcraft “Vi6”

が求められます。Vi6 は全世界におけるユーザー数も多く、安心して使用できる安定性があると思います。」とこちらも安定性を重視されています。また、期末期首の特番収録など、Vi6 の規模を超える時の補助卓として Soundcraft のアナログ・コンソール “GB8” が使用されています。

# HIBINO

hibino Group



### ▼日本テレビ放送網株式会社

〒 102-0084

東京都千代田区二番町 14 番地

<http://www.ntv.co.jp/>

### 【運用開始】

2010 年 7 月

### 【主要な納入機材】

機材	デジタル・ミキシングコンソール
ブランド名	CALREC
製品名	APOLLO

機材	デジタル・ミキシングコンソール
ブランド名	Soundcraft
製品名	Vi6

機材	ミキシングコンソール
ブランド名	CALREC
製品名	M3

機材	ミキシングコンソール
ブランド名	Soundcraft
製品名	GB8

機材	リバーブプレーター
ブランド名	LexiconPRO
製品名	PCM 96

機材	マスタークロック / ビデオシンクジェネレーター
ブランド名	MUTECH
製品名	iCLOCKdp

### ●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.  
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3110  
TEL : 03-5783-3880